

す ぼ や し

金沢素囃子 子ども塾

第十期生修了発表会

金沢市アートホール
令和7年 3月23日(日)



時間

開演13:30(開場13:00) 終演15:00(予定)

料金

無料(全席自由)

●主催／金沢素囃子子ども塾運営委員会、金沢市 ●共催／公益財団法人横浜記念金沢の文化創生財団
(お問い合わせ)金沢素囃子子ども塾運営委員会事務局(金沢市文化政策課内) 電話 076-220-2442 FAX 076-220-2069



金沢素囃子子ども塾

第十期生修了発表会

金沢市では金沢市指定無形文化財である「かなざわすばやし金沢素囃子」の伝統を受け継ぐ人材を育成するため、平成十七年度に金沢素囃子保存会の協力を得て「金沢素囃子子ども塾」を開講しました。

令和五年度から二年間お稽古に励んできた第十期生七名が演奏いたします。これまでの稽古の成果をご覧ください。

第一部 金沢素囃子子ども塾第十期生修了発表会

御祝儀

一 雛鶴三番叟

三番叟もので最も古く作られたもので、古風な味があり、翁・千歳・三番叟が五穀豊穡・天下泰平を祈って舞うというおめでたい内容です。

三 勸進帳

謡曲の「安宅」からとったもので、歌舞伎十八番の内の一つとして、大変格調高い演目です。十期生全員で唄います。

二 松の緑

娘を松の若木になぞらえて、その初々しさを述べ、将来松の位の太夫（たゆう）になるべき風格を備えるようにと詠み、前途を祝したという内容です。十期生全員で三味線を演奏します。

四 末広狩

狂言の「末広狩」を長唄化した。明るくて品のいい曲です。末広狩とは扇のことで、ゆく末ますます広がり栄えるという御めでたい意味が込められております。二年間学んだ集大成をお楽しみください。

第二部 金沢素囃子鑑賞会

素囃子「老松」

文政三年 杵屋六三郎 作曲

三味線	杵屋 喜三以菜	笛	藤舎 眞衣
三味線	杵屋 喜三笙	小鼓	望月 太満智
三味線	杵屋 喜三以満	○小鼓	望月 太満衛
唄	杵屋 喜三繭	大鼓	望月 太満紀
唄	杵屋 喜三笑	大鼓	望月 太満恵

楽曲解説

謡曲「老松」を長唄化したもので、莊重・幽婉・軽快、全曲変化に富んだ作曲となっております。

金沢素囃子子ども塾 第十一期生 募集! ~金沢素囃子を学んでみませんか~

- 募集対象** 金沢市内在住の小学4年生～中学2年生(4月からの新学年) 20名
- 受講期間** 令和7年4月～令和9年3月までの2年間

詳細は金沢市ホームページをご覧ください▶



金沢市アートホール
 金沢市本町2-15-1(ポルテ金沢6F)
 TEL 076-224-1660
 ※駐車場はございません。近隣の有料駐車場または公共交通機関をご利用ください。

金沢素囃子

金沢市指定無形文化財
 金沢で演奏されている素囃子は歌舞伎囃子より出たもので、小鼓、大鼓、大鼓、笛による演奏に、文化・文政のころより三味線が入り現在の形となりました。
 演奏者は舞台上の雛壇に上がり、上段に長唄などの地方(唄・三味線)が、下段には囃子方が並びます。舞踊や劇がなく、演奏に徹する形式が確立され、「金沢素囃子」と称されています。
 昭和五十三年に金沢素囃子保存会が、三茶屋街を中心として、望月、堅田、藤舎の三流派の社中四十数名で発足。昭和五十五年には金沢市無形文化財の指定を受けています。